

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (※などの取得認語があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	土木事業においては、樹木の伐採等を必要最低限に抑える等、自社活動が生態系に及ぼす影響に配慮している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	廃棄物の分別管理やリサイクル、建設資材のリユースを通じて、3Rに積極的に取り組んでいる。									12.5		14.1						
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ						6.4	6.6											
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7			12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ										12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	天然資源の持続的な利用に配慮し、建設資材のリユースに積極的に取り組んでいる。										12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	法令順守について就業規則に明文化し、コンプライアンス意識を醸成している。															16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争防止について就業規則に明文化し、コンプライアンス意識を醸成している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	業務上、知財の権利侵害が無いよう配慮している。							8.2	9									
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報適切に管理している	基本	顧客情報の取扱いに留意し、情報管理を行っている。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社の事業活動において、紛争鉱物は該当なし。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	建設資材のリユース、リサイクル等について、取引先と認識を共有化し、共に取り組んでいる。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】「パートナーシップ構築宣言」は作成しておらず、今後の検討とする。			3					8	9	10						17	

※ 「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。 <https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認語があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	建設現場における三大災害の防止に向けて、安全な労働環境の構築を徹底している。				3.9									12.4																	
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	自社の品質基準を設定し、文書化して社内共有することで、品質管理を徹底している。														9																
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	土木事業において、自社活動が環境に及ぼす影響に配慮している。																	12	13	14	15										
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	自社商品として、ミニ油圧ショベル向けのコピットカバー「イマエシート」を開発し、重機の保護・劣化防止等、建設現場の課題解決に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17													
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域の社会資本・安全な暮らしを支える企業として、地域住民から見えない部分も決して手を抜くことなく、環境整備に取り組んでいる。																	9	11	12		14	15	17							
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	地元中学生向けの就業体験の機会や、イベント等において児童向けに重機の展示を行うなど、社会貢献活動に取り組んでいる。																						14	15	17						
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外販）している	チャレンジ	地域の人材雇用を通じて、地域経済活性化に取り組んでいる。																			8	9		11	12	13						
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	全体ミーティング等を通じて、代表者より会社の取組方針を都度周知・徹底している。																								17						
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守を就業規則に明文化し、社内でも周知・徹底している。																								16						
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	代表者が中心となり対応を行っている。																								16						
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	自社および事業を取り巻く関係者とのコミュニケーションを密にし、適切な関係を構築している。																								16	17					
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	現場単位の組織表を作成し、リスク管理を行っている。																								16						
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	地域の社会資本・安全な暮らしを支える企業として、責任を持った対応を行っている。																								16						
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	新型コロナウイルス対策推進宣言に準拠し、対応している。																								9	11		13	13.1		16
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	自社株の集約を行い、円滑な事業承継の対応をとっている。																									8	9				17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA (Responsible Business Alliance)（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定